

藍建て【ゆり】



① 種から育てた藍が、いよいよ染めまでの最終工程である『藍建て(あいだて)』の段階になりました。この日は藍染めの名人『佐々木先生』が来てくださいました。



④ 佐々木先生に手を添えてもらいながら、混ぜ方のコツを伝授してもらいます。こどもたちの表情も少し緊張している様子です。

すくもを藍甕の中へ！すくもと一緒に木灰から作った灰汁を60℃に熱し、入れてすくもと混ぜ合わせます。



⑤ 藍が建つまでの間、朝昼夕3回必ず混ぜます。素敵な色が出るように毎日大切にお世話して行きます。



③ 灰汁を触ってみると、普通の水とは違って指がぬるぬる！「これを触ると指溶けるよ」と教えてもらい、ゆりさんもビックリ！



⑥ 藍の色んな事を教えてくれた佐々木先生にこどもたちから感謝のプレゼントを贈りました。本当にありがとうございました。

土ひねり【ゆり】

「陶芸家の谷口先生がきてくれる！」と、歓迎の気持ちを込めて、家を掃除し、折り紙などで飾り付けをしました。



谷口先生に「大きいと作品が爆発するよ、小さいと折れてしまうよ」とコツを教わりながら楽しみました。



土ひねり当日、谷口先生と会えることを楽しみにしていたこどもたちは興味津々に話を聞き、手先を観察していました。



土粘土を介して友だちと会話をしながら、思い思いに土にふれ、形が変わっていきます。どんな作品が出来上がるのかはお楽しみ。